

平成25年度（2013年）

医学教育カリキュラムの現状

一般社団法人

全国医学部長病院長会議

設問1. カリキュラム全般

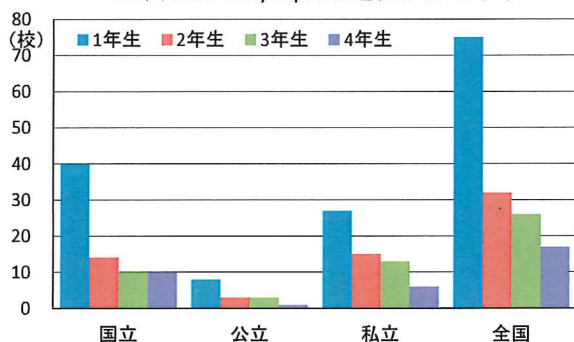
1-F. Early Exposure (医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し、動機づけを試みる教育)

Early Exposureを行っている学年・期間と内容 (複数回答あり)

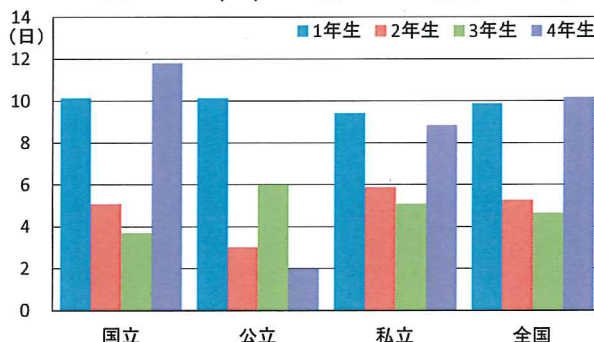
(表1-F)

		国立	公立	私立	全国
1年生 (校数)	(校)	40	8	27	75
平均日数	(日)	10.1	10.1	9.4	9.9
最多日数	(日)	58	40	46	58
最少日数	(日)	2	2	2	2
2年生 (校数)	(校)	14	3	15	32
平均日数	(日)	5.1	3.0	5.9	5.3
最多日数	(日)	16	4	13	16
最少日数	(日)	2	1	1	1
3年生 (校数)	(校)	10	3	13	26
平均日数	(日)	3.7	6.0	5.1	4.7
最多日数	(日)	9	15	15	15
最少日数	(日)	1	1	1	1
4年生 (校数)	(校)	10	1	6	17
平均日数	(日)	11.8	2.0	8.8	10.2
最多日数	(日)	40	2	28	40
最少日数	(日)	1	2	3	1
全学年合計 (校数)	(校)	42	8	29	79
平均日数	(日)	15.0	13.8	15.9	15.2
最多日数	(日)	74	40	46	74
最少日数	(日)	2	3	3	2

■ 図 1-F1 Early Exposureを行っている学年



■ 図 1-F2 Early Exposureを行っている期間(平均日数)



大学名	学年	期間(日)	内 容
【国立】			
北海道大学	2	4.0	平成25年度(9月)における実施はあったが、平成25年度入学者(平成26年度)より廃止。
旭川医科大学	1	5.0	旭川市近郊の医療機関または福祉施設に実習へ赴き、早期に医療現場を体験し、医療職とは何か、また、チーム医療やコミュニケーションの重要性について考えるきっかけとする。
	2	6.0	学生を15グループに分け、道内の2次医療圏をベースに分けた15地域の内、1つのグループにつき1つの地域の複数の医療機関等にインタビューに行き、地域医療の現状を知る。
弘前大学	1	5.0	患者指導・診療処置に関わる援助・見学を行い、医療チームの協力関係のあり方を学ぶ。
東北大学	1	30.0	臨床医学修練(1次)、医療入門ワークショップ、事前実技実習、学外施設実習、大学病院見学実習、医療安全管理、臨床医紹介、地域医療体験実習等
	2	2.0	地域医療体験実習、地域医療実習説明会
	4	32.0	臨床医学修練(2次)
秋田大学	1	11.0	看護演習(1日)・看護実習(2日)・チーム医療体験実習(8日)
	3	8.0	早期臨床実習(8日)
山形大学	1	16.0	救急車同乗実習(ガイダンス及び事前指導、消防署での実習、報告発表会)

設問1. カリキュラム全般

大学名	学年	期間(日)	内 容
筑波大学	1	38.0	○人間性教育：インフォームドコンセント、臓器移植：ハンセン病、生と死、どのような医師を目指すか。#1・医療・福祉現場でのふれあい：附属病院ふれあい実習、福祉施設等のふれあい実習、外来新患エスコート実習。#2・病院見学実習、#3・コミュニケーション実習、#4リハビリテーション部実習、救急実習。#5・高齢者／妊婦模擬体験学習。#6・研究室紹介 #7・地域医療実習
群馬大学	1	13.0	「医学医療概論講義・実習」科目において、毎週月曜日の午後に附属病院の診療科・病棟・ボランティア部門で実習を8回行う。事前講義は、4回、オリエンテーションは、1回実施。
	2	13.0	「チーム医療実習」科目において、事前講義を3日間と実習を10日間行う。
防衛医科大学校	1	9.0	病院体験実習、医学概論、部外病院等施設見学実習
千葉大学	2	2.0	病院、地域医療保健施設におけるチーム医療の見学
	3	2.0	大学病院、一般病院の見学
東京大学	1	4.0	全学体験ゼミナール「医学に接する」
	4	5.0	介護実習
東京医科歯科大学	1	17.0	医師の職務、医学の将来を概観し、医師・医学研究者に求められる社会性、知識、コミュニケーション能力、問題解決能力の基盤を形成する内容。具体的には、国際医療、多彩なキャリア、医学の歴史と展望、症候学導入、グループ英語討論、シャドウイングなど。
山梨大学	1	2.0	県内中核病院の診療現場へ学生を志向させて、当該病院の指導者のもとで病院実習を体験させる。
	3	2.0	県内消防署に学生を1泊2日で志向させて、救急自動車に同乗等して、救急隊の業務を体験させている。
新潟大学	1	5.0	医療安全講習、感染管理講習を受けて学外病院、診療所、クリニック、本学医歯学総合病院を見学する。その後、グループ学習を行い、見学してきた内容を報告する。
	4	4.0	看護体験。チーム医療における看護の役割を学ぶ。
信州大学	1	5.0	早期体験実習
	2	5.0	患者体験実習、看護体験実習、病院見学
富山大学	1	7.0	・介護体験実習 ・早期基礎臨床体験実習
金沢大学	1	3.0	解剖塚見学、病棟実習、病院見学
福井大学	1	5.0	病院見学1日、病棟看護体験実習3日（病棟での説明1日含む）、患者エスコート体験実習1日
	4	5.0	介護体験等実習、環境保健学実習
岐阜大学	1	12.0	初期体験実習：高齢者福祉施設、肢体不自由児医療・教育施設、盲学校、聾学校、赤十字血液センター等医療・福祉現場での体験実習。事前及び事後研修を含む。
浜松医科大学	1	3.0	福祉施設体験学習、医療現場体験学習
	2	2.0	訪問看護・介護ステーション、地域病院見学、看護実習、医療現場実習
	3	3.0	地域の保健所、保健管理センターでの実習、地域の病院見学
名古屋大学	1	4.0	看護実習（1日間）、介護実習（2日間）、シャドウイング（1日間）
三重大学	1	32.0	患者体験実習（説明会：1日、体験実習学生1人につき1日） 医療と社会（半日を32日、内8回の現場体験実習）、他に地域基盤型保健医療実習（1年生10日程度、2年生5日程度）を実施しているが、医療ではなく、地域保健を中心とする地域交流活動であるので、ここには含めていない。
	3	1.0	地域診療所見学実習（遠隔地にある地域診療所での見学型実習）
	4	1.0	地域病院見学実習（三重県内にある小・中規模病院での見学型実習）
滋賀医科大学	1	3.0	医療・保健・福祉現場の体験学習
京都大学	1	5.0	医学・薬学・看護が混成、少人数で関連病院を訪問し、5日間Shadowingを行うとともに他職種についての理解を深める。
	2	2.0	実習前までに闘病記を読むことを課し、実習時は大学附属病院各診療科で臨床実習中の5回生の指導のもと、患者さんから直接話を聴く。残りの時間は診療現場の見学等を行う。（平成25年度入学者より2回生で履修することに変更し、内容の見直しを検討中）
大阪大学	1	10.0	医学部附属病院において、内科及び外科を中心とした病棟見学を行っている。
神戸大学	1	7.0	医学部医学科・保健学科・他大学（神戸薬科大学）の1回生が、学外や学内の病院で医療の現場を観察し体験する機会を設けていたり、基礎医学分野に所属し、早くから医学研究者としての素養を身に付けるようにしている。
鳥取大学	1	10.0	附属病院での看護体験や学外医療機関への訪問、及び臨床教室での見学を行っている。
	4	8.0	鳥取県内の医療施設に行き、地域医療体験を行う。
島根大学	1	4.0	早期医学体験実習

設問1. カリキュラム全般

大学名	学年	期間(日)	内 容
岡山大学	1	13.0	一般学生：院内体験実習、保健医療福祉体験実習、ホスピス・看護体験実習等 地域枠学生：一般学生の内容の他に2週間の体験学習を実施している
	3	5.0	地域枠学生は選択必修、一般学生は選択科目として、地域医療の現場で診察を見学し、医療スタッフとの交流を通じて、プライマリケアの役割を学ぶ授業科目として開講
	4	10.0	地域枠学生は選択必修、一般学生は選択科目として、地域医療の現場で診察を見学し、医療スタッフとの交流を通じて、プライマリケアの役割を学ぶ授業科目として開講
広島大学	1	2.0	夏休みを利用し、民間の医療機関で第一線の医療現場の見学を行う
山口大学	1	3.0	「医学入門」における高齢者施設体験実習
	3	3.0	地域包括医療修学実習
香川大学	1	58.0	医学概論Ⅰ：医学を志すものに必要な基本的な知識の習得。 医学概論Ⅱ：医療問題について自らが調査し、グループで発表する。 早期体験学習：臨床の初歩体験学習。チュートリアル教育を実践する。 早期医学実習：医学研究や医療現場を体験し、課題探求能力を養う。 21世紀社会・環境と医学・医療：日常疾患を学ぶ。地域医療と高齢者の介護の現状を体験的に学ぶ。
	2	16.0	保健医療福祉看護・介護論：全人的、包括的医療と看護の関係を理解する。 保健指導・カウンセリング・チーム医療の基礎：保健指導、カウンセリング、チーム医療を理解する。
愛媛大学	1	4.0	介護等体験実習（全員必修）
高知大学	1	14.0	【科目名】EMC 初期臨床医学体験 内容：オリエンテーション、附属病院実習、外来付き添い実習、BLS、プライマリケア実習、報告会
九州大学	1	2.0	学外病院見学
佐賀大学	1	10.0	外来患者（新患）付添実習、看護体験実習、精神障害者施設実習、保育所実習、リハビリ体験実習
	2	3.0	病棟早期体験実習、高齢者施設実習
長崎大学	1	6.0	【必修】病院、介護老人保健施設、リハビリテーション施設等で見学・実習を行う（3日）。【地域枠学生必修】離島・へき地で見学・実習を行う（2泊3日）。
	2	3.0	【選択】離島で見学・実習を行う（2泊3日）。
	3	9.0	【必修】病院、診療所、介護老人保健施設、リハビリテーション施設等で見学・実習を行う（6日）。【選択】離島で見学・実習を行う（2泊3日）。
熊本大学	1	5.0	介護体験実習等
大分大学	1	12.0	4月下旬に学内診療科見学及び学外施設での介護体験実習を学内3日間と学外3日間、及び地域貢献ボランティア実習（附属病院外来ボランティア）を1時間X6日間実施
	2	5.0	10月に専門教育のイントロダクトリコース授業として附属病院見学実習を2時間X5日間実施
	4	40.0	研究室配属（連続8週間）
宮崎大学	1	4.0	学内早期体験実習（医療現場の早期体験）及び医療コミュニケーション、マナー、医療安全等、医療についての講義
	2	4.0	学外の医療・福祉の現場（特別養護老人ホーム、身体障害者療護施設、緩和ケア病棟、へき地公立病院など）の体験を通じて、医療従事者（医師、看護師、看護助手、介護従事者）と医療・福祉を受ける者あるいは地域住民とが、どのような関わり方を持っているのかを学ばせる。この実習により、医療・福祉に従事する者として必要なコミュニケーション、マナー、豊かな人間性、社会的使命感・責任感・感染予防法などを体得させる。
鹿児島大学	1	4.0	患者さんの体験談聴講、患者さんとのコミュニケーション、ビデオ視聴、医療問題について現場の医療者を交えた討議
	2	4.0	専門職の講義、病棟・部門および地域の医療・保健・福祉の現場の見学とグループ討議、発表
	3	3.0	附属病院薬剤部実習、検査部実習、輸血部実習、調剤薬局見学、血液センター実習、地域医療機関実習、健診見学、在宅医療見学
	4	8.0	附属病院薬剤部実習、検査部実習、輸血部実習、調剤薬局見学、血液センター実習、地域医療機関実習、健診見学、在宅医療見学、保育所実習
琉球大学	1	3.0	外来患者付き添い実習、救急車同乗実習
	3	1.0	施設体験実習
	4	5.0	離島地域病院実習
【公立】			
札幌医科大学	1	2.0	札幌市内の病院、医療施設で、医師および医師以外の医療職一人に学生一人が付いて一日随行（2日間実施）することによって、医師の仕事内容を学ぶ。
	2	4.0	地域医療機関に向いて、医師と医療人の仕事を実際に体験することにより、医師の仕事と医療・保健・福祉ネットワークの成り立ちを理解する。
	3	2.0	附属病院で専門看護師または認定看護師に密着し、看護師が行う業務の多様性と専門性を理解する。

設問1. カリキュラム全般

大学名	学年	期間(日)	内 容
福島県立医科大学	1	3.0	大学附属病院における病棟、外来体験や中央部門等の見学
横浜市立大学	1	13.0	①「福祉施設実習」福祉施設における介護等の実習を通して福祉の意義を理解し、コミュニケーションの方法について学ぶ。 ②「教室体験演習」基礎系・臨床系教室にそれぞれ配属し(90分×8回×2教室)、専門教育に先駆けて動機づけを試みている。
名古屋市立大学	1	40.0	医療系学部連携早期体験学習として、基本医療技能実習、医療体験、地域参加型学習を実施。
京都府立医科大学	1	4.0	病院や研究室の見学等
大阪市立大学	1	4.0	早期臨床実習Ⅰ：保健医療チームの一員として、将来共に働いていく看護職の役割について理解する。 早期診療所実習：医師として備えるべき基本姿勢を身につけると共に、医師・患者の関係を理解する。
	2	1.0	早期臨床実習Ⅱ：大学病院の医師と行動させ、医師として最低限のマナーを理解する。
	3	1.0	早期臨床実習Ⅲ：大学病院の初診患者に対し、案内及び診察室の同席をすることにより、患者側の視点を理解する。
奈良県立医科大学	1	3~5	附属病院での看護等体験実習、保健・福祉施設での体験実習
	3	15.0	クリニック実習、ホスピス実習
和歌山県立医科大学	1	10.0	県内各地の医療機関での体験実習(ケア・マインド教育(早期体験実習))、老人福祉関係施設体験実習(医学入門)
	2	4.0	障害者福祉関係施設実習(地域実習)、保育所実習(地域実習)
	4	2.0	看護体験実習
【私立】			
岩手医科大学	1	11.0	①医療体験実習 ②地域医療見学研修 ③看護・介護体験実習
	3	9.0	①地域医療研修 ②テーマ別研修(救急センター当直体験研修、救急車同乗体験研修等)
自治医科大学	1	2.0	外来・病棟患者付添い実習
	2	4.0	地域保健福祉実習
獨協医科大学	1	5.0	福祉施設等で2日間実習を行う他、院内中央部門等の見学や院内感染に関する実習を行っている。
	3	3.0	各診療科及び看護部の配属実習や実際の患者様に参加いただく臨床講義を実施している。
埼玉医科大学	1	3.0	関連病院(3病院)での見学実習、関連法人介護老人保健施設・重症心身障害児施設で交流実習、近隣小中学校で教育体験実習
	2	2.0	関連法人介護老人保健施設・重症心身障害児施設で介護業務体験実習、関連病院(3病院)で医師業務見学
	3	5.0	関連病院(3病院)で他職種業務(薬剤・リハビリ)見学実習、関連病院(3病院)で看護業務体験実習
	4	28.0	臨床導入実習、関連病院(3病院)で臨床導入見学実習
日本大学	1	46.0	①医学序論(28日間)：各分野の講義及び各教員によるSGS(スモールグループセミナー)を実施することにより、医学医療に対する関心度を高め、今日の問題を把握すると共に、自己自身のアイデンティティーを確立する ②社会体験学習(18日間)：外部施設実習等を通じて、医療人として奉仕貢献することができる基本的態度を形成する。
日本医科大学	1	17.0	医学実地演習(臨床看護業務実習)5日間、医学入門12日間
東邦大学	1	2.0	病院・診療所・老人保健施設での見学型実習
	3	1.0	病院での見学型実習
東京医科大学	1	4.0	外来体験実習、エスコート実習、看護体験実習
東京女子医科大学	1	10.0	対話入門、看護の医療対話
	2	1.0	外来患者との医療対話
	3	5.0	地域医療
	4	7.0	診療所実習
東京慈恵会医科大学	1	9.0	Early Clinical Exposure I、Early Clinical Exposure II、福祉体験実習、病院見学実習
	2	10.0	重症心身障害児療育体験実習、地域子育て支援体験実習
	3	5.0	在宅ケア実習
	4	5.0	病院業務実習
慶應義塾大学	1	10.0	老人ホーム、重症心身障害児施設、リハビリテーションセンター、精神神経科病院および療養所の見学、入所者介助等(説明会3日、実習6日、反省会1日)

設問1. カリキュラム全般

大学名	学年	期間(日)	内 容
昭和大学	1	14.0	初年次体験実習 将来、多様な背景を持つ人々に、誠意を持って適切な対応が出来る社会性ある医療人になるために、体験実習を行うことにより人間関係を築く基本的態度を養うとともに、医療チームの一員としての自覚を持ち、専門教育へのモチベーションを高める。
	2	7.0	病院体験実習 看護師、薬剤師、その他の医療従事者の業務見学・体験実習を通して、医療従事者の使命や患者との信頼関係の重要性を体感する。実習：5日間、オリエンテーション：1日、報告会：1日
	3	5.0	地域医療実習 プライマリケアの教育について学ぶため、実際の地域医療の現場に赴き、医療の提供のあり方や様々な側面に触れ、地域医療についての理解を深める。 実習：3日、オリエンテーション・地域医療実習の講義：1日、報告会：1日
順天堂大学	1	10.0	病院見学（1日）、看護実習（4日）、施設実習（5日）
	2	13.0	小児実習（5日）、外来案内実習（1日）、臨床基本手技・災害医療トレーニング（7日）
	3	15.0	臨床基本手技（2日）・医療面接（2日）・診察技法トレーニング（11日）
杏林大学	1	14.0	病院実習 講義：臨床医学入門
帝京大学	2	8.0	病院のコメディカルについて、医師とは違う職種を学ぶ
北里大学	1	3.0	BLS講習会、病院体験当直Ⅰ、マナー研修
	2	10.0	合同慰霊祭、墓前祭、早期体験学習
	3	2.0	白菊会懇談会、病院体験当直Ⅱ
	4	4.0	ペイシエントコミュニケーション、患者さんから学ぶ、看護部・コメディカル実習
聖マリアンナ医科大学	1	8.0	看護実習／外来実習／新患実習／救急車同乗実習 等
東海大学	1	19.0	附属病院（看護部・検査部門・事務部門）・研究室への配属実習、救急当直体験
	2	6.0	福祉施設実習
金沢医科大学	1	5.0	学年を2グループに分け、初日はオリエンテーション、2日間学外施設で福祉体験実習、もう2日間で福祉関連講習会
	2	5.0	4日間（月～木）病棟での看護体験実習と、最終日（金）グループ別報告会
	3	1.0	休日、祝日を利用して救急車同乗体験実習
	4	6.0	大学近隣の家庭を訪問して、問診・血圧測定等・尿検査等・保健指導の実際を通じた在宅医療実習
藤田保健衛生大学	1	13.0	病院実習13日（コ・メディカル 6日、診療科各科 7日） 看護体験実習1日、その他に1人1回約2時間の接遇体験を4回実施している。
愛知医科大学	1	9.0	病院において看護業務の体験、医師業務の見学 医学部同窓生の病院見学
	2	1.0	学外の身体障害者施設での体験学習
	4	3.0	老人保健施設等での見学・体験実習
大阪医科大学	1	4.0	早期体験実習（院内各部署実習）
	2	2.0	早期体験実習（病棟実習）
関西医科大学	1	8.0	早期体験実習：病院、診療所、老人ホームなどでの施設で3日間以上の医療現場体験、地域医療実習：地域医療の医療現場を実際に体験する。
	2	3.0	看護実習（ガイダンスを含む）
	3	3.0	医療面接入門（エスコート実習・医療面接演習／実習）（ガイダンスを含む）
近畿大学	1	4.0	学外施設実習、病院実習
兵庫医科大学	1	4.0	本学病院で看護師の業務を体験する。
	2	12.0	老人施設、肢体不自由児施設、精神障害者施設、リハビリテーション施設、福祉施設、児童施設などで現場スタッフの実際を体験する。新患者をエスコートし、外来患者の実際を体験する。
	3	5.0	訪問看護ステーションで訪問看護師とともに行動し、在宅ケアの実際を体験する。
川崎医科大学	2	4.0	附属病院での体験実習
産業医科大学	1	4.0	重症心身障害児（者）施設実習
福岡大学	1	9.0	看護実習・心肺蘇生実習
	3	7.0	社会医学実習（各施設・保健所）、患者対応実習、地域医療体験実習
久留米大学	1	7.0	医学入門実習（半日×12日）、施設体験学習（1日）

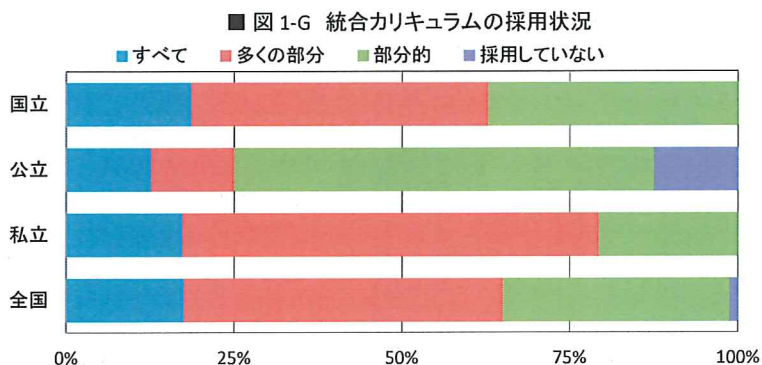
設問1. カリキュラム全般

1-G. 統合カリキュラム

細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムの採用状況

(表1-G)

	国立	公立	私立	全国
1 すべてにわたり、採用している	8	1	5	14
2 多くの部分で、採用している	19	1	18	38
3 部分的に、採用している	16	5	6	27
4 採用していない	0	1	0	1
計	43	8	29	80



【国立】

北海道大学	3
旭川医科大学	2
弘前大学	2
東北大学	3
秋田大学	1
山形大学	2
筑波大学	2
群馬大学	3
防衛医科大学校	2
千葉大学	3
東京大学	2
東京医科歯科大学	1
山梨大学	3
新潟大学	2
信州大学	3
富山大学	1
金沢大学	3
福井大学	2
岐阜大学	2
浜松医科大学	1
名古屋大学	1
三重大学	2

滋賀医科大学	2
京都大学	2
大阪大学	3
神戸大学	3
鳥取大学	2
島根大学	2
岡山大学	3
広島大学	1
山口大学	1
徳島大学	3
香川大学	2
愛媛大学	3
高知大学	3
九州大学	3
佐賀大学	2
長崎大学	2
熊本大学	3
大分大学	1
宮崎大学	2
鹿児島大学	2
琉球大学	3

【公立】

札幌医科大学	3
福島県立医科大学	2
横浜市立大学	3
名古屋市立大学	3
京都府立医科大学	4
大阪市立大学	1
奈良県立医科大学	3
和歌山県立医科大学	3

【私立】

岩手医科大学	3
自治医科大学	3
獨協医科大学	2
埼玉医科大学	1
日本大学	2
日本医科大学	2
東邦大学	2
東京医科大学	2
東京女子医科大学	1
東京慈恵会医科大学	2
慶應義塾大学	2
昭和大学	3

順天堂大学	2
杏林大学	3
帝京大学	2
北里大学	2
聖マリアンナ医科大学	2
東海大学	1
金沢医科大学	1
藤田保健衛生大学	3
愛知医科大学	2
大阪医科大学	2
関西医科大学	2
近畿大学	1
兵庫医科大学	2
川崎医科大学	2
産業医科大学	2
福岡大学	3
久留米大学	2

設問1. カリキュラム全般

1-H. カリキュラム改訂

1)平成23年以降の大幅な改訂

「1. 行った」の場合、2)改訂の実施年

「2. 行っていない」の場合、4)平成22年以前の最終改訂年度

(表1-H)

	国立	公立	私立	全国
1 行なった	21	2	17	40
平成23年 実施	4	1	4	9
平成24年 実施	9	0	5	14
平成25年 実施	8	1	8	17
2 行っていない	22	6	12	40
(最終改定) 平成22年度	5	2	2	9
(最終改定) 平成21年度	4	2	3	9
(最終改定) 平成20年度	5	0	1	6
(最終改定) 平成19年度	4	0	2	6
(最終改定) 平成18年度	0	2	0	2
(最終改定) 平成17年度以前	4	0	4	8
計	43	8	29	80

【平成23年以降に大幅な改訂を行った学校】

大学名	実施	改訂のねらい	現行カリキュラムの特色
【国立】			
北海道大学	23年 及び 25年	【23年度カリ】平成23年度入学者からの入試制度変更に伴い、基礎医学の授業開始を2年次前期からとし、医学教育の充実を図る。 【25年度カリ】1) 専門科目を前倒し、2) 診療参加型実習を拡充、3) 臨床実習とそれに関連する講義や演習を統合、4) 臨床実習期間の途中に中間期評価と追加オリエンテーションを導入、5) 診療参加型学外臨床実習を大幅に拡大し必修化	
東北大学	24年	4年次臨床授業科目の統合化により各科目で重複があった部分を解消する。	
秋田大学	24年	2年次専門教育科目の一部を1年次に移動した。	1年次は主に教養基礎教育が中心であるが、初年次ゼミなどで専門教育の入門や医療面接の態度教育を開始し、また専門教育科目を開始している。
山形大学	25年	臨床実習74週化に向けた改訂	日本でも1、2位を争う長期間にわたる病院実習、それも見学型のみでなく実際の診療チームに文部科学省のガイドラインに沿ったプログラムで参加するというシステムで実現
群馬大学	24年	基礎医学分野科目の見直しを行うことで、過密化の解消	1年次、有機化学・生物学講義の充実をはかった。
千葉大学	25年	臨床実習の期間延長	アウトカム基盤型カリキュラム
東京大学	25年	クリニカルクラークシップを導入し見学型から参加型へ変更	一部の選択科目を除いてほぼ全科を学生がローテートし、可能な限り参加型の実習を目指している
東京医科歯科大学	23年	専門科目の早期導入、医歯学融合教育等の導入、臨床実習の増加等により、高度専門医療人の養成を図っている。	臨床実習の充実、臓器系統別統合カリキュラムの実施など、横断的実習効果が得られるように配慮している。
山梨大学	23年	過密な医学科2年次のカリキュラムを見直し、2年次の開講科目の一部を医学科1年次で開講することとした。	3年次後期及び4年次通年にテュートリアル教育を取り入れている。
信州大学	23年	世界標準の臨床教育を行う環境を整備	「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」を実施
富山大学	25年	臨床実習の充実と教養教育の見直し	モデル・コア・カリキュラムの全面的導入、臨床実習の中で「地域医療」臨床実習を実施

設問1. カリキュラム全般

大学名	実施	改訂のねらい	現行カリキュラムの特色
浜松医科大学	24年	単位の厳格化	1年～2年次前期 教養教育主体の教育（豊かな人間性と高い倫理観を育むための教養・教育、医療倫理に力を入れている） 2年次後期から4年次 臨床実習前専門教育（講座間にまたがる構成で、医学の体系的な学習を容易にしている） 5年次から6年次 診療参加型臨床教育（特に6年次の10週間の臨床実習は、附属病院他関連病院、海外協定校を含み行っている）
大阪大学	23年	Advanced OSCEの導入	基礎医学講座配属など、基礎医学研究の機会を重視している。
島根大学	25年	全学共通教育科目のカリキュラム改革に併せて、学生のモチベーションアップのため1年次から専門科目を導入、また、医学チュートリアル教育の見直し、臨床実習74週導入をめざし、臨床実習期間を延長した。（平成25年度66週、平成26年度74週）	問題解決能力を養う自主的な学習と多くの地域医療機関を含む多様な医療施設による実践的医学教育
岡山大学	25年	臨床実習前教育の充実、モチベーションの維持と向上、臨床実習の週数増加	国際認証を受けるためのカリキュラム改正の過渡期
広島大学	24年	4年次の10～1月に医学研究実習を導入し、医学研究に対する理解と意欲（リサーチマインド）を涵養することを目指した。	基本的な臨床知識の教育を3年次までに終了することで、4年次には、集中的な長期のチュートリアルや医学研究実習など、特定の目的をもった教育プログラムを長期間にわたって実施することができる。
愛媛大学	24年	参加型臨床実習の充実	初年次教育の拡充、研究者養成プログラムの低学年（初年次）からの開講
高知大学	24年	カリキュラムの見直し	低学年から医学的な科目を配し、医学体験をする。また、PBL、先端医療学コース等、問題解決能力の醸成をはかる科目を選択必修科目としている。
長崎大学	24年	教養教育の充実、臨床能力向上のための臨床実習の充実、能動型学習のためのTBL導入	教養教育の充実、臨床能力向上のための臨床実習の充実、能動型学習のためのTBL導入
大分大学	24年	医学部附属地域医療学センター設置に伴いEarly exposuerの一環として地域医療実習を3年次にも新設、advanced OSCEの単位化（卒業要件に組み入れを明確化）	改訂モデル・コア・カリキュラムとの関連を明確にしたチュートリアル教育とクリニカル・クラークシップの導入
琉球大学	25年	1年次から専門医学教育の開始、3年次前期での基礎医学科目の終了	地域医療教育の充実、研究者マインドの涵養、臨床実習・クリクラの実質化
【公立】			
横浜市立大学	23年	①リサーチマインドの養成 ②学体系に基づく科目編成	①リサーチマインドの養成 ②学体系に基づく科目編成
奈良県立医科大学	25年	臨床実習の拡充	基礎実習の充実
【私立】			
岩手医科大学	25年	1学年からの専門科目の履修	学部横断的カリキュラムの導入
自治医科大学	25年	理科教育の充実	優れた臨床能力を持った総合医の育成
埼玉医科大学	25年	講義と演習を組み合わせ学習するカリキュラムに改編することで、試験前のみではなく常時勉強することが求められるようになり、結果として教育目標を達成することができる	6年一貫・臓器別・機能別統合カリキュラム
日本大学	23年	「選択臨床実習」を導入し、臨床実習の時間数を増やして、臨床実習の充実を図った。	選択臨床実習の導入。
東京女子医科大学	23年	医療実践能力を高める、科学的探究心の開発教育、地域医療実習	チュートリアル教育、統合カリキュラム、人間関係教育
慶應義塾大学	24年	①第5～6学年に設置する臨床実習の学年定員増対応、臨床実習週数増加 ②共用試験（CBT・OSCE）、臨床実習開始への完全な対応を図るべく、第4学年までに臨床医学系各科目の系統講義を修了するためにカリキュラムの部分改定を行った。	基礎的な研究能力に優れた臨床医を育てる独自のカリキュラム。

設問1. カリキュラム全般

大学名	実施	改訂のねらい	現行カリキュラムの特色
昭和大学	24年	臨床実習72週実施に向けての改訂。5年次の臨床実習をクリニカルクラークシップとするために、各診療科の実習を1週に変更し、4週のクリニカルクラークシップを3期実施できるよう変更した。	良質な卒前教育となるように、1年から6年までを統合的となるように配慮したカリキュラムとしている。また、医療系総合大学の特長を生かし、卒前から多職種連携を行う教育カリキュラムとなるようにしている。
順天堂大学	25年	臨床実習の充実	臓器別、病理病態別の統合型カリキュラム
杏林大学	24年	3年次チュートリアルの実施時期、統合カリキュラム科目配置	4年次チュートリアルの実施、臓器別臨床講義
北里大学	23年	考える力を育む教育	グループ学習・体験学習を通じて学習の動機づけを行う
金沢医科大学	24年	第5・6学年の臨床実習期間の拡大	モデル・コア・カリキュラムに準拠した、臓器別の6年一貫教育
藤田保健衛生大学	24年	医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂をベースに	小グループ学習を増やす工夫をしている。
愛知医科大学	25年	カリキュラム改正を実施するため、これまで1コマ90分の授業（1日4コマ）であったものを1コマ70分（1日5コマ）とし、臨床実習及び授業科目が前倒しで実施できるようにした。	学生の学習意欲を高めるとともに臨床実習前における人間教育、リサーチマインド形成のための教育の充実を図っている。
関西医科大学	25年	6年一貫カリキュラムを策定し、1学年時から専門科目を履修できるようにする。医学および医療の専門職として必要な知識と技術を身につけるとともに幅広い教養と人間性を兼ね備えた医師を育てる。	医学知識の修得に偏重することなく、医学生としてのモチベーションの維持と医学生の態度人間性・コミュニケーション能力の醸成を重視している。
兵庫医科大学	25年	国際認証基準に近づけるべく臨床実習実施週数を増加させる準備として、4年生カリキュラムに余裕をつくるために一部の科目を4年生と3年生の同時開講とした。（次年度以降は3年生のみ開講） 第1学年次の教養教科の配分を見直し、解剖実習の時間を増やす。	1～4年のチュートリアル教育、臓器別、短期集中、兵庫医療大とのチーム医療教育、レベルアップ選択科目の導入、関西学院大学との連携講座、訪問看護実習、2・4・5年の総合進級試験の実施、クリニカルクラークシップの実施など。
福岡大学	25年	医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂及び医師国家試験出題基準の変更さらに本学の医師国家試験成績の低迷、それに伴う入学者の学力低下等の問題を解決するため。	1) 初年次医学教育の充実2) 研究室配属導入3) 小人数教育・成績不振者対策導入4) 臨床医学ブロック型集中講義・試験の見直し5) 診療参加型臨床実習の充実・実習期間の拡充
久留米大学	23年	「医療科学」の独自色を、より鮮明にする。	地域医療の良き担い手となる人間性に富む医師の育成を目的としたカリキュラムを編成している。

設問1. カリキュラム全般

【平成23年以降に大幅な改訂を行わなかった学校】

大学名	最終改訂	現行カリキュラムの特色
【国立】		
旭川医科大学	21年	改訂時から実施されている本学の入試制度（地域枠入試）と密接に関連するカリキュラムが充実している。（地域医療関連実習カリキュラム（1、2学年の早期体験実習（1週間）、6学年の地域医療実習（2週間）、広大な北海道を基盤とする地域医療実習のための援助（実習に係る交通費及び宿泊費の補助）、地域医療関連講義科目（地域医療学（1学年）、臨床疫学、健康弱者のための医学（4学年）など）
弘前大学	21年	地域医療を学ぶ科目を充実している。
筑波大学	16年	1) 3年次にてケア・コロキウムで、医学類、看護学類、医療科学類、薬学部（東京理科大学から参加）合同のテュートリアルを実施。 2) 4年次の2学期からクリニカル・クラークシップを導入。
防衛医科大学校	19年	進学課程を見直し、授業時間数の短縮と効率化、及び科目の充実・刷新を図った。
新潟大学	21年	地域医療教育、テュートリアル教育、臨床スキルトレーニング、臨床実習
金沢大学	20年	全学共通科目として、導入科目と情報処理基礎を、専門課程において専門基礎科目を導入した。
福井大学	21年	できる限りモデルコアカリキュラムに準拠したカリキュラムを編成している。さらに、臨床実習前に開講する「基本的診療知識・技能」を充実させるとともに、PBL教育を導入している。
岐阜大学	20年	・初年次教育（初期体験実習など）の充実 ・基礎・社会医学実習（テュートリアル選択コース）の充実 ・地域医療教育の充実 ・臨床実習の充実
名古屋大学	22年	学生が様々な可能性を追求する機会を十分に与える一方、社会から期待されるレベルを超える実践的な医学・医療の知識と技術を身につけられるように配慮している。
三重大学	15年	1997年度PBLチュートリアル教育の導入、2000年度基本的臨床技能教育・OSCEの導入（その後共用試験実施機構の方針に沿って実施）、2003年度クリニカルクラークシップの導入などの大きなカリキュラム改訂を1997年から2003年の数年間をかけて実施した。その後、地域基盤型保健医療教育の導入（2010年）、医学英語教育方法の変更（2010）、クリニカルクラークシップ期間の延長（2012年度）などの教育内容改善に向けての取組みを継続して行っている。
滋賀医科大学	22年	・基礎医学において開講学年を見直し授業時間数の偏りがなくなった。 ・系統統合講義を編成し直し講義内容が現実的になった。 ・少人数能動学習の症例を厳選し集中的に実施することとした。
京都大学	22年	レベル・システム方式を導入している。自主研究プログラムを充実化している。
神戸大学	19年	
鳥取大学	20年	1年次から専門教育を開始し、高学年でも教養科目を履修できるようにした。また、地域医療学教育を充実した。
山口大学	16年	コアカリ完全準拠
徳島大学	19年	1年間の研究室配属。単位認定を伴う海外留学の実施（選択制）。
香川大学	20年	医学教育モデル・コア・カリキュラムに則った教育体系（80%）と、専門基礎科目の充実及び早期体験学習、課題実習等の本学独自のカリキュラム（20%）
九州大学	19年	
佐賀大学	20年	アーリー・エクスポージャーの充実、PBL及びTBLの導入
熊本大学	17年	モデルコアカリキュラムを参考にして、独自のカリキュラムを構築している。現在平成26年度入学者からの適用を目指してカリキュラムの改訂を検討している。
宮崎大学	22年	平成22年改訂では地域医療に関する科目を必修とした。
鹿児島大学	22年	卒業時到達目標のコンピテンシーによる記載とアウトカム基盤型教育のカリキュラム、ポートフォリオによる評価、USMLE型のOSCEによる6年次の統合的臨床能力評価、プロフェッショナルリズム科目を明確化、研究者マインドの醸成のための自主研究の必須化、医療への早期曝露、地域で学ぶ科目の増加（3～4年次）
【公立】		
札幌医科大学	22年	基礎医学系においては、学問大系に沿ったカリキュラムとし、基礎系、内科系、外科系の順のカリキュラムとした。
福島県立医科大学	21年	6年一貫のらせん型教育カリキュラム
名古屋市立大学	21年	Outcome competence-based spiral curriculum
京都府立医科大学	22年	モデル・コア・カリキュラム体系を柱とし、教育の理念や教育目標、さらには特徴、特質を活かした本学独自の統合医学カリキュラム
大阪市立大学	18年	
和歌山県立医科大学	18年	ケアマインド教育、早期体験実習、PBL、院外臨床実習

設問1. カリキュラム全般

大学名	最終改訂	現行カリキュラムの特色
【私立】		
獨協医科大学	21年	高度化・細分化する医学・医療や社会のニーズに対応した6年間一貫のクサビ型教育カリキュラムを展開している。また、全国医科大学・医学部共通の「医学教育モデル・コア・カリキュラム」を基本とし、「コミュニティヘルスイターンシップ（地域医療早期体験実習）」や「PBLチュートリアル」、4学年における「症例演習」など、本学ならではの講義、実習なども随所に盛り込んでおり、人間性豊かな医師の育成と個人の能力啓発に重点をおいたカリキュラムを構成している。
日本医科大学	19年	モデルコアカリキュラムを参考とし、本学独自のカリキュラムを構築。低学年でチュートリアル教育を導入し、専門教育を開始する前の学生のモチベーション維持に努める等をした。
東邦大学	16年	国際化・リサーチマインドへの対応、医療人教育の充実、個性を伸ばす
東京医科大学	15年	<ul style="list-style-type: none"> ・1年では、問題解決能力の養成を主眼とするチュートリアル方式の【課題研究】が行われている。 ・2年では、基礎医学系科目の学習に重点が置かれている。 ・3,4年では、社会医学系系統講義とコア・カリキュラムに基づく基礎医学系と臨床医学系の統合型・臓器別臨床講義を主体としたカリキュラムが組まれている。 ・5年では、見学型臨床実習が導入され、指導医のもとで臨床の現場を体験する。 ・6年では、参加型、選択実習など学生の主体性を尊重したカリキュラムを採用している。
東京慈恵会医科大学	22年	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース・ユニット制 <ul style="list-style-type: none"> ・講座と独立した教育体制 ・教育内容の可視化 ・総合試験 2. 6年一貫統合型カリキュラム <ul style="list-style-type: none"> ・基礎から臨床への積み上げ ・特徴的な横断のカリキュラム 3. 充実した演習・実習 <ul style="list-style-type: none"> ・低学年からの患者接触体験 ・少人数問題解決型演習（PBL）の導入 ・全診療科配属と徹底した診療参加型実習を両立した臨床実習（H27年度開始）
帝京大学	21年	内科系科目の学年を下げ、マイナーといわれる科目を4年次前半で終了し、後半は実習に近い診断ができる講義にした。
聖マリアンナ医科大学	14年	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の一般・基礎・臨床の学体系に捉われず全てにコース制を導入。 ・1年次より臨床系科目を配することで、早期に医学への意欲を高める。 ・座講の時間を減らし、「PBL・臨床PBL」や「医療総論（早期臨床体験学習）」等へ時間を配分。 ・選択科目として語学系、人文、社会系、自然系、専門医学系からなる「総合教育科目」を設置。
東海大学	22年	<ul style="list-style-type: none"> ・横断型の統合カリキュラムで運営 ・1～6年次に「医師学」コースとしてプロフェッショナリズムを育成する科目を系統だてて配置 ・1年次の「個別体験学習（院内配属のアーリーエクスポージャー）」を3週間実施 ・5年次クリニカルクラークシップを全科において採用 ・SP（模擬患者）を活用した講義を3・4・5年次に開講 ・6年次選択臨床実習において、地元医師会や市中病院に加え、「地域医療（へき地）」コースを開設
大阪医科大学	15年	PBLチュートリアル、総合教育の幅広い展開、統合カリキュラムクリニカル・クラークシップの導入
近畿大学	19年	国家試験合格に向けて、定期試験を含めた支援体制を行っている
川崎医科大学	21年	医学教育モデルコアカリキュラムに準拠したカリキュラム
産業医科大学	20年	<p>各学科目は現行の「総合教育」、「医学基礎」、「基礎医学」、「臨床医学」および「産業医学」の5区分に分類される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「総合教育」教育は大学生として必要な教養教育を行うとともに、基本的な学習習慣を身につけさせることを目的とする。また、医学系色彩の濃い教育内容を取り入れ医学学習への動機付けを行う。 2. 「医学基礎」教育は高等学校教育から医学教育への橋渡しの役割を担った内容とする。 3. 「基礎医学」教育は各授業科目間のみならず臨床医学との関連を統合、強化し、正常構造、正常機能および病態を理解させ、臨床医学学習に必要な学力を身につけさせることを目的とする。 4. 「臨床医学」教育として、まず3、4年次に臨床系統講義が行われる。4年次後学期にCBTとOSCEを実施後に臨床実習を開始する。臨床実習を重視した内容とする。6年次に基礎医学を連携した「統合講義」を行う。 5. 「産業医学」教育を1年次から6年次の各学年にわたり系統的に実施する。特に5年次に学外の企業で行う「産業医学現場実習」は重要である。産業医学教育を段階的に発展させて本学の設置目的を具現化する。

設問1. カリキュラム全般

1-I. 医学教育の検討事項

1) 現在、学内でカリキュラムについて、検討されている事項

(表1-1)

	国立	公立	私立	全国
1 ある	40	7	29	76
2 ない	3	1	0	4
計	43	8	29	80

2) 具体的な検討事項は

大学名	具体的な検討事項
【国立】	
北海道大学	診療参加型臨床実習の時間数を54週から72週程度に増加
旭川医科大学	医学部プログラム認証に対応するカリキュラムの作成
弘前大学	学士編入時期の前倒しに伴う、開講期の変更。
東北大学	臨床医学修練（3次）における実習診療科・実習期間の調整。
秋田大学	診療参加型実習74週に向けたカリキュラム案の作成
山形大学	臨床実習中のプログラムの見直し
群馬大学	来年度、3年次生で新規科目を開講予定、参加型臨床実習の週数増加
防衛医科大学校	臨床実習の開始時期について4学年の1月から5学年の4月から開始を検討している。
千葉大学	専門教育科目（解剖学等）の前倒し 生物学のリメディアル教育
東京大学	全学主導のアカデミックカレンダーの改正
山梨大学	医学教育分野別評価基準日本版への対応
新潟大学	アウトカム基盤型カリキュラムの導入、基礎医学の学習時間にゆとりを持たせる、診療参加型臨床実習の充実
信州大学	「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」の具体的なローテート法等
富山大学	臨床実習期間・質の拡大
金沢大学	72週の臨床実習の実施。
福井大学	グローバルスタンダードに準拠するため、カリキュラムの改訂を検討している。
岐阜大学	臨床実習の充実と advanced OSCE
浜松医科大学	国際認証に向けて検討する
名古屋大学	臨床実習の充実
三重大学	臨床実習期間の72週までの拡充に向けての検討。
滋賀医科大学	臨床実習時間数の確保
京都大学	全てを講義で教えることの見直し、試験方法の見直し
大阪大学	教養課程の改革
神戸大学	医学教育認証評価に向けての臨床実習の期間延長と内容の充実、水平及び垂直方向の新しい科目の設置等。
鳥取大学	臨床実習の期間増とそれに伴う科目の再編
岡山大学	授業時間の短縮、臨床実習の週数増、国際認証受審に向けた準備
広島大学	臨床実習の週数の増加
山口大学	臨床実習期間72週への対応
徳島大学	臨床実習のありかた、共通教育から専門教育への接続など。
香川大学	初年次の準備教育の充実化、2年次の過密スケジュールの解消対応、臨床実習の期間拡大など。
愛媛大学	臨床実習の期間延長と質的充足。特に学外での臨床実習の増加。
高知大学	低学年時における教養教育及び語学教育について、どのような科目を設定すべきか。
九州大学	教養教育、専門教育（基礎医学）、専門教育（臨床実習）
佐賀大学	カリキュラム全体の見直し
長崎大学	国際認証のため臨床実習の検討
熊本大学	臨床実習期間の拡充、スチューデントドクター制度の導入、卒業試験形態の見直し等
大分大学	国際標準の医学部認証制度に係る医学科カリキュラム改革を検討している
宮崎大学	グローバルな医学教育認証に対応したカリキュラムを平成26年度より開始するために現在検討中である。
鹿児島大学	臨床実習期間の延長とそれに伴う講義科目の前倒し
琉球大学	臨床実習の増加を図る、グループ学習機会の増加、統合カリキュラムの導入
【公立】	
札幌医科大学	臨床実習の週数増（52週→72週）
福島県立医科大学	臨床実習期間の延長
横浜国立大学	臨床実習の充実
京都府立医科大学	臨床実習72週化や3大学教養教育の共同化等によるカリキュラムの改訂
大阪市立大学	医学部の国際認証に向けてのカリキュラム変更について。
奈良県立医科大学	一般教養教育の見直し

設問1. カリキュラム全般

大学名	具体的な検討事項
【私立】	
岩手医科大学	①臨床実習の拡大 ②共用試験の実施時期
自治医科大学	BSLの標準化、試験科目数の見直し
獨協医科大学	臨床実習期間
埼玉医科大学	①卒業時アウトカムを基礎とするカリキュラム ②6年間を通じた臨床実習のあり方（時間の確保と質の向上）
日本大学	臨床実習の拡大及び充実
日本医科大学	教務部委員会
東邦大学	臨床実習期間拡大による教養・基礎医学・臨床医学講義の再編成
東京医科大学	参加型臨床実習の拡充、新たな学習領域の導入、国際認証評価に対応するカリキュラムの導入等
東京女子医科大学	平成23年度から新カリキュラムが導入された。次年度以降のカリキュラムの詳細とコマ数を検討している。
東京慈恵会医科大学	臨床実習期間の拡充、参加型臨床実習の導入
慶應義塾大学	認証評価に向け、臨床実習週数の増加、Advanced OSCEの導入、アウトカム基盤型教育へのコア・コンピテンスの設定。
昭和大学	臨床実習時間の確保によるクリニカルクラークシップの充実
順天堂大学	国際認証対応
杏林大学	英語教育の少人数編成クラスの導入
帝京大学	アウトカム基盤型カリキュラム
北里大学	国際認証に対応したカリキュラムの策定について
聖マリアンナ医科大学	現在臓器別コース毎に定期試験を実施しているが、低学年（1～3学年）より総合的な試験の導入を検討している。
東海大学	国際認証に合わせた医学教育カリキュラムの構築
金沢医科大学	国際認証制度に向けた臨床実習の拡大と診療参加型実習の実質化、アクティブラーニングの拡大
藤田保健衛生大学	医学部分野別認証日本版基準に適合できるよう改変中である。
愛知医科大学	国際認証に適合したカリキュラムへの変更に向けた取り組みを開始した。
大阪医科大学	臨床実習の週数増加と質について
関西医科大学	研究医養成コース、PBLチュートリアル、配属実習、試験方式
近畿大学	臨床実習の時間数増加を検討している
兵庫医科大学	臨床実習実施週数の増加と、ローテーション方法について
川崎医科大学	医学教育分野別評価基準日本版に準拠したカリキュラムの検討
産業医科大学	臨床実習時間の増加
福岡大学	1) 臨床参加型診療実習の拡充。2) 卒業時AdvancedOSCEの導入。
久留米大学	授業時間数、実習（内容・時間数）の見直し

設問1. カリキュラム全般

1-J. カリキュラム改訂の予定

1) 今後、大幅なカリキュラム改訂

2) 実施予定の時期

(表1-J1)

	国立	公立	私立	全国
1 予定している	33	7	23	63
平成26年 予定	15	2	9	26
平成27年 予定	11	5	6	22
平成28年 予定	5	0	1	6
平成29年 予定	1	0	2	3
平成30年 予定	0	0	2	2
平成31年以降 予定	0	0	0	0
未定	1	0	3	4
2 今のところ、予定していない	10	1	6	17
計	43	8	29	80

3) 改訂のねらいは

【実施予定年度と改定のねらい】

大学名	年度	改定のねらい
【国立】		
北海道大学	28年	診療参加型臨床実習の増加、多職種連携教育の導入など近年の教育改革の適用
旭川医科大学	27年	医学部プログラム認証に対応するカリキュラムの作成（アウトカム基盤型教育、臨床実習の延長）
弘前大学	26年	学士編入時期の前倒しに伴う、開講期の変更。
東北大学	26年	臨床医学修練（3次）における実習診療科・実習期間の調整。
秋田大学	27年	臨床実習74週化に伴い、臨床医学講義を3年次開始に前倒し、基礎医学講義の1年次へ大幅に移動することである。
山形大学	26年	臨床実習に入った学生にも座学の学習を確認させる。
群馬大学	27年	臨床実習の週数の増加
防衛医科大学校	26年	低学年における詰込み型カリキュラムを解消する。
千葉大学	26年	専門教育科目（解剖学等）の前倒し
新潟大学	26年	アウトカム基盤型カリキュラムの導入、基礎医学の学習時間にゆとりを持たせる、診療参加型臨床実習の充実
富山大学	未定	国際基準を満たすための臨床実習期間拡大
福井大学	28年	グローバルスタンダードに準拠させ、低学年からのアーリーエクスポージャーと臨床実習の充実を図る。
浜松医科大学	27年	検討中
名古屋大学	27年	臨床実習の充実
滋賀医科大学	27年	国際水準に基づく臨床実習の実施
京都大学	28年	選択授業の導入、多学年授業、他職種授業など
大阪大学	28年	共通教育科目及び基礎医学教育の充実
神戸大学	26年	医学教育認証評価への対応（BSLの強化、授業科目の新設等）
鳥取大学	29年	国際認証に対応したカリキュラムの作成
岡山大学	26年	授業時間の短縮、臨床実習の週数増、国際認証受審に向けた準備
広島大学	26年	前回のカリキュラム改訂により、共用試験の実施時期が全国で2番目に早くなってしまったため、これを是正したいと考えている。 また、現在実習期間中一部自由選択となっている臨床実習を、すべて必修化することを予定している。
山口大学	27年	臨床実習期間72週への対応
徳島大学	26年	学外実習を含めた選択実習を増やすことでクリニカルクラークシップの週数を増やす。
香川大学	26年	医学教育の国際基準に準拠したカリキュラムの策定。学生の基礎学力低下の対策。
愛媛大学	28年	主に臨床実習の期間延長について（時期・内容未定）
高知大学	27年	臨床実習期間の変更。またそれに伴う科目の履修時期の再編。
九州大学	26年	教養教育の改正、これに伴う専門教育（基礎医学）の改正、臨床実習の改正
佐賀大学	27年	基礎教育の充実、臨床実習の拡充
長崎大学	26年	国際認証のため臨床実習の検討
熊本大学	26年	現在の教育体制を見直し、医学教育認証制度での認証を目指すため。
大分大学	27年	世界医学教育連盟準拠した医学教育カリキュラムに変更するため（臨床実習増加、アウトカム基盤型教育等）
宮崎大学	26年	グローバルな医学教育認証に対応
琉球大学	27年	自律的学習能力の涵養、臨床能力の向上、基礎配属期間の延長（3ヶ月）

設問1. カリキュラム全般

大学名	年度	改定のねらい
【公立】		
札幌医科大学	26年	医学部国際認証に対応するための臨床実習週数増に伴う各科目開講期の再編
福島県立医科大学	27年	臨床実習時間の延長
名古屋市立大学	27年	臨床実習期間の延長
京都府立医科大学	26年	臨床実習72週化等
大阪市立大学	27年	医学部の国際認証の取得のため
奈良県立医科大学	27年	学生の一般教養の涵養
和歌山県立医科大学	27年	分野別認証に合致したカリキュラム、本学の特徴（地域密着、早期の研究、地域での実習）を出す。
【私立】		
岩手医科大学	未定	国際認証評価への対応
獨協医科大学	未定	医学部国際外部評価受審に向けたカリキュラム編成
埼玉医科大学	26年	6年生のアドバンストクリニカル・クラークシップの充実を図る（4週間→8週間）
日本大学	27年	臨床実習の拡大及び充実
日本医科大学	26年	国際認証評価に耐えうるカリキュラム
東邦大学	26年	臨床実習期間拡大による教養・基礎医学・臨床医学講義の再編成
東京医科大学	26年	国際認証評価に対応するカリキュラムの導入、参加型臨床実習の拡充等
東京慈恵会医科大学	27年	参加型臨床実習では、指導医の下で学生が主体的に診療に従事することが学習課題となる。この学習を行うために、臨床という「職場」で学生が自らの能力を見極め、学習課題を設定し、それを学びとる能力を持っていなければならない。それらを養うためのカリキュラム改革を実施する。
慶應義塾大学	26年	①プロフェッショナルイズム教育の導入 ②認証評価に向けた臨床系科目成績評価制度の見直し ③臨床実習改革（地域基盤型臨床実習、選択臨床実習の導入） ④Advanced OSCEの導入。
昭和大学	26年	外部評価に対応可能となるよう臨床実習の時間を多くして、真のクリニカルクラークシップとなるようなカリキュラムにする
順天堂大学	29年	臨床実習の充実を漸進的に実施
帝京大学	26年	アウトカム基盤型カリキュラム改訂および臨床実習を72Wに近づける
北里大学	30年	国際認証に対応できる構成のカリキュラム
聖マリアンナ医科大学	26年	2023年問題（国際認証）に対応しうるアウトカムに基づくカリキュラムの施行のため。
東海大学	29年	・国際認証に合致する医学教育カリキュラムの実施
金沢医科大学	27年	国際認証制度に向けた臨床実習の拡大と診療参加型実習の実質化、アクティブラーニングの拡大
藤田保健衛生大学	27年	①臨床実習を約2年間にする ②学習成果基盤型にする
愛知医科大学	未定	国際認証に適合したカリキュラムを目指す。
大阪医科大学	27年	臨床実習の充実を含め、国際認証に対応した全面的な改革
兵庫医科大学	26年	国際認証基準に近づけるべく臨床実習実施週数を増加させるため、従来は5年生以降に実施していた臨床実習について、4年生後期カリキュラムへ前倒して実施する。
川崎医科大学	28年	医学教育分野別評価基準日本版に準拠したカリキュラム
福岡大学	30年	臨床実習週数の拡充
久留米大学	27年	本学の特色である地域医療教育を具体化するとともに、医学教育国際認証にも対応したカリキュラムとすること

設問1. カリキュラム全般

3) 貴学のアドバンスカリキュラム(コアカリ以外)について

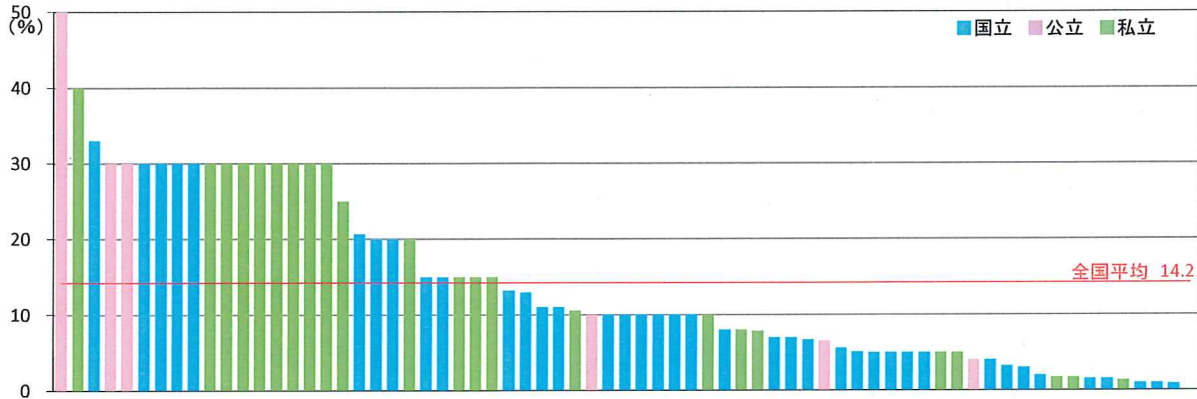
① その割合は全体のどれくらいですか

(表1-L3)

		国立	公立	私立	全国
回答校	(校)	39	6	24	69
	(平均)	11.0	21.8	17.5	14.2
	(最多)	33.0	50.0	40.0	50.0
	(最少)	0.8	4.0	0.1	0.1

※不明回答:3校

■ 図 1-L3 アドバンスカリキュラムの割合



②カリキュラム名と内容

大学名	割合	カリキュラム名：内容
【国立】		
北海道大学	30.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の全学教育の一部：1年次の全学教育の一部を選択性の必修科目として、学生の志向を尊重したもの ・3年次の基礎医学実習：少人数ずつに分かれた研究室配属で、多様な専門分野の研究を行う。 ・6年次の診療参加型選択科臨床実習：学生が選択した科を1か月ずつ3科ローテーションする（計3か月間）。 ・6年次の国試自習期間：6年の10月以降、学生が計画を立て自主的に学習する。
旭川医科大学	約11%	<ul style="list-style-type: none"> ・選択必修コースⅠ～Ⅵ：現代の基礎・臨床医学の最先端の課題を扱うコース、睡眠医学を学ぶコース等、複数の講義メニューの中から、学生が各自の興味・関心に応じてコースを選択し、比較的少人数で学習を進めていく。（第3・第4学年） ・臨床実習選択Ⅰ、臨床実習選択Ⅱ：学生が興味・関心を示したコースを選択し、医学科第5学年次に行った臨床実習をより深く掘り下げて学ぶ実習。（医学科第6学年）
弘前大学	1.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育演習Ⅱ（総合試験）：国家試験形式の試験を実施する。
東北大学	13.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床前特別講義：医学に関する様々な分野についての講義を行う。 ・基礎医学修練：基礎系の研究室に配属し、長期間に渡り基礎医学の研究を行う。
秋田大学	3.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバンス基礎医学コース（2年次） ・選択カリキュラム（4年次）
山形大学	1.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・医学英語：医学に必要な英語の基礎を身につける。ネイティブスピーカーによる原則英語だけの授業 ・臓器疾患学：「肝・胆・膵」コースにおいて、臓器移植を講義 ・基本診療学：「放射線」において、治療の最前線として重粒子について講義
筑波大学	33.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・医学概論Ⅰ『人間性教育』：医療の目的、目標、必要性を学び、医療の専門職者を目指すものとして人格を高める。 ・医療概論Ⅱ『在宅ケア』：プライマリ・ケア、高齢者の在宅ケア、地域医療の現状と課題、医師のプロフェッショナルリズム ・医療概論Ⅲ『健康教育』：介護予防、栄養指導・運動指導、禁煙教育、禁煙防止教育、食育。

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合 カリキュラム名：内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療概論Ⅳ『アドヴァンストコース』、『医療安全』：『アドヴァンストコース』学際的な問題、最新情報交え深く掘り下げた学習。『医療安全』よい医療をめざすために、診療計画を立案・決定し、実行する過程において、リスクや患者の価値観に配慮し、患者の理解を得ながら診療を進める考え方を学ぶ。
群馬大学	20.0% <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験学：動物実験に関する理論から、実験動物の特性、実験基本手技までを講義 ・放射線生物学：放射線と生体に関する基礎知識を講義している ・医学教育研究発表チュートリアル：半年にわたって少数で、研究室の指導のもと、ポスター作成を行う ・チーム医療実習：2週間にわたって介護老人保健施設等において、実習を行う
防衛医科大学校	2.0% <ul style="list-style-type: none"> ・防衛医学系：自衛隊医官としての任務と、その特殊性について把握させる。
千葉大学	1.6% <ul style="list-style-type: none"> ・医学英語：英語論文の理解、英語による医療コミュニケーション
東京大学	15.0% <ul style="list-style-type: none"> ・MD研究者育成プログラム：研究者育成を主眼に置いた選択制のプログラム ・臨床研究者育成プログラム：研究者育成を主眼に置いた選択制のプログラム
東京医科歯科大学	5.6% <ul style="list-style-type: none"> ・研究実践プログラム：第2学年からの選択科目であり、医学系基礎研究者養成を目的としたプログラム
山梨大学	5.0% <ul style="list-style-type: none"> ・トリアージ訓練への参加：2年次に、医学部附属病院におけるトリアージ訓練に参加させ、災害医療の面から地域医療を理解させるものである。 ・救急車同乗実習：3年次に、患者が病院等の医療機関に搬送される前の医療を体験する場として、24時間消防署に待機し、救急事案へ同行する救急車同乗実習を行うものである。 ・地域医療学特別講義「エイズ知識普及啓発講演会」：3年次に、HIV感染の現状、感染予防のための手法や患者への対応について、HIV/エイズの正しい知識の普及啓発にとどまらず、将来医療に従事する者のHIV診療に対する理解を深めることを目的として、実施するものである。 ・フィールド研究：4年次に、山梨県における地域医療についてのテーマの提示を受け、現状調査・問題点の整理・解決策の検討を 学生個人、またグループで考えるゼミ形式のフィールド研究を行うものである。
新潟大学	11.0% <ul style="list-style-type: none"> ・4年次 医学研究実習：新潟大学以外の国内外の大学、研究施設での医学研究従事を2か月間認めている。 ・5年次 臨床実習Ⅰ：医学振興財団が行う、英国大学医学部の臨床実習プログラムへの参加を3か月間認めている。 ・6年次 臨床実習Ⅱ：ミネソタ大学臨床実習を交換留学協定により3か月間認めている。
信州大学	7.0% <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット講義（臨床決断・社会医学） ・自主研究演習 ・系統講義（性差医学） ・疾患予防医科学概論
富山大学	10.0% <ul style="list-style-type: none"> ・選択制臨床実習：①臨床実習コース、②海外の大学病院における臨床実習コースから1コースを選択 ・基礎研究演習：自由科目として本授業科目を開設し、研究室における本格的な研究をとおして、その面白みや醍醐味を体験させ、学生の研究マインドや研究能力を涵養する
福井大学	10.0% <ul style="list-style-type: none"> ・医学英語科目（6教科）：現場で使える医学英語能力の涵養をはかる科目を2～4年次に開講している。 ・アドバンストコース（4教科）：医学・医療の先端的な内容など高度な専門的及び関連する広範な学修内容を教授する選択制教科。 ・研究室配属：研究マインドの涵養をはかるため、一定期間基礎医学講座等で医学研究に従事する。
岐阜大学	7.0% <ul style="list-style-type: none"> ・チュートリアル選択コース：基礎・社会医学研究室での研究活動等
名古屋大学	6.7% <ul style="list-style-type: none"> ・基礎医学セミナー：いわゆる基礎講座配属 ・選択特別講義：臨床系講座が種々のテーマで4～6種類の講義を並行して開講

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合 カリキュラム名：内容
三重大学	30.0% <ul style="list-style-type: none"> ・早期海外体験実習：医学科1-4年生を対象に、夏期休暇中に実施する海外での体験的実習（希望者対象） ・新医学専攻コース：第3-4学年次の研究室研修以外に、6年間希望する研究室で研究に参加するカリキュラム（希望者対象） ・海外臨床実習：第6学年に1か月間の海外の協定大学での臨床実習に参加（選択制で、一学年の約半数が参加） ・地域基盤型保健医療実習：第1-2学年次に、2年間通して一地域を担当し、地域調査と地域貢献活動を実践（必修カリキュラム）
京都大学	5.0% <ul style="list-style-type: none"> ・マイコース・プログラム：4回生時に7週間、海外を含む研究室に配属
大阪大学	13.0% <ul style="list-style-type: none"> ・前期機能系実習：分子細胞生物学・遺伝学、生理学及び生化学に係わる実習を行う。（2か月間） ・選択必修科目：学生に10コースの中から1コースを選択させ、少人数でのグループ学習を行う。（1か月間） ・後期機能系実習：薬理学、病理学及び放射線基礎医学に係わる実習を行う。（1か月間） ・基礎配属：学生に基礎医学講座の中から1講座を選択させ、少人数でのグループ学習を行う。（4か月間）
神戸大学	10.0% <ul style="list-style-type: none"> ・初期体験実習：保健医療の現場に接することによりヒューマンケアリング、生命・医療現場などを体験的に学ぶ。 ・医学序説：テーマごとに臨床と基礎の関連、これらの知識がベッドサイドでの医療にどのように投影されているかを総合的に理解していく。
鳥取大学	8.0% <ul style="list-style-type: none"> ・基礎医学セミナー2：基礎医学講座を選択して小グループに分かれてセミナー等を受講する。 ・先端医学特別講義：臨床医学講座を選択して小グループに分かれセミナー等を受講する。 ・基礎配属：特定の基礎医学系教室において4週間にわたって基礎医学の理解を深めることを目的とする。 ・基礎医学実習：実験の手技、組み立て方を身につける。各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。
島根大学	5.0% <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスト・イングリッシュスキルコース：英語必修科目以外でさらに力を付けたい学生を対象に、医学部独自の英語高度化プログラムとして、上級TOEICセミナー、臨床英語、アカデミックイングリッシュ等の1科目10コマ20時間の自由科目を開設 ・地域医療体験実習：自由科目として全学年（主として低学年）に地域医療体験実習の受講機会を提供 ・海外研修A・B・C：自由科目として全学年（主として低学年）に海外における医療現場の見学・語学研修（A）、全学年（主として高学年）に海外における医療体験（B）、学生の自主的な海外研修（C） ・医学研究の基礎：自由科目として全学年を対象に講座に配属し医学研究の基礎を学ぶ（全学生対象の必修科目講座等配属のアドバンストカリキュラム）
岡山大学	30.0% <ul style="list-style-type: none"> ・選択制臨床実習：学外、学内を含め約100コースから最大4コース選択。（1コース4W） ・Advanced OSCE：6年次の臨床実習終了後に、卒業試験の一部として実施。 ・基礎病態演習：1グループ7～8名に分かれ、具体的な疾患、臨床例について学習し、まとめたものを発表する。 ・医学研究インターンシップ：研究配属先を自主的に選択し、研究を体験し、成果を発表する能動的体験型授業
広島大学	1.0% <ul style="list-style-type: none"> ・先端医療技術トレーニングセンター実習：先端医療を理解させる一貫として、シミュレータを使って内視鏡操作や腹腔鏡下手術などを学生にやらせている
山口大学	20.7% <ul style="list-style-type: none"> ・自己開発コース・修学論文チュートリアル：自己開発コース：基礎医学系、社会医学系、臨床医学系の各講座、診療科（部）、医学部医学科寄付講座が提案した学内外でのカリキュラムに参加、または学生自身が提案したカリキュラムで学外や海外で活動する。いずれも、実験あるいは調査を原則とした研究活動と、ボランティア活動を原則とした社会活動がある。修学論文チュートリアル：医学・医療を中心とした分野で、論理的な思考をもとにプレゼンテーション能力や論文作成能力を養うために、教員の個人指導のもとで研究テーマを設定し、自主学習により論文等とともに研究データや情報を収集し、解析し、考察し、討論を行い、発表し、さらに論文としてまとめる。

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合 カリキュラム名：内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤系特別専門講義：医学・生命科学の先端分野に触れ、学術的視野を広め、自分の学習方向を見定め、学習意欲を高めるために、学内外の第一線の研究者の講義を聞き、質疑応答等の議論に参加し、学問の面白さを知り、先端分野の現状と将来の方向性を把握し、考察する。 ・臨床系特別専門講義・実践臨床医学特論：臨床系特別専門講義：学外から当該領域の専門家を招聘、最先端の内容を分かりやすく解説してもらったり、各分野での特筆すべき先端分野の講義を行う。実践臨床医学特論：国家試験既出問題を念頭に診療現場に沿った臨床各分野を体系的かつ臨床問題対応的な解説講義を行い、臨床推論能力の向上を目指した症候、疾患に対する理解を深めることを目的とする。 ・Open Science Club及びSCEA・AMRAコース Open Science Club：引き続き高次自己修学コース、高度学術医育成コース（SCEA/AMRAコース）に向けて、研究マインドと個性の萌芽を自己育成するため、基盤系講座の研究活動に選択的実践参加し、これを通じて基盤系教員との絆形成と基礎医学研究への親和性獲得の緒端を開く。SCEA・AMRAコース：大学院への進学を奨励し将来の研究医を養成する目的で、2つのプログラムが設置されている。SCEAプログラムは法医学を中心とする基盤系分野（人体病理学、解剖学一般、生理学一般、医化学一般、医療社会学等）で、AMRAプログラムは前期プログラムにあっては、「高度自己修学コース」における修学論文で実験研究を指導した分野、後期プログラムにあっては、全ての分野である。
徳島大学	10.0% <ul style="list-style-type: none"> ・医学研究実習（3年次）：研究室に1年間配属し、自分自身の研究テーマを持って研究を行い、年度末にポスター発表を行う。 ・海外留学：テキサス大学ヒューストン校、ハノーバー医科大学（独）、ソウル国立大学へ短期間留学（選択選抜制）
香川大学	20.0% <ul style="list-style-type: none"> ・課題実習：基礎系講座、臨床系講座、病院部門、総合生命科学研究センター、地域病院に一定期間配属研究 ・臨床病理検討会：カルテの記述理解、検査成績の分析、診断に至る思考過程、鑑別診断等を学ぶ。 ・医療総合講義：専門領域の分化、新たな技術開発、疾患の発見等に対応できるup-to-dateなトピックスを学ぶ。
愛媛大学	10.0% <ul style="list-style-type: none"> ・医科学研究：研究室配属による研究者育成を目指した授業、新カリキュラムでは1～4年次に開講 ・医学英語：ネイティブ・スピーカーによる英語コミュニケーション能力向上を目指した授業、必修2単位/選択2単位 ・先端基礎医学講義、先端医療学講義：基礎&臨床医学に関する最先端の内容を講義する（単位付与はない）
高知大学	4.0% <ul style="list-style-type: none"> ・先端医療学コース：リサーチマインドの醸成や研究面からの問題解決能力の向上と、留年次実習による指導力の醸成をはかる
九州大学	10.0% <ul style="list-style-type: none"> ・総合医学Ⅱ：医工学入門、周産期チーム医療、プライマリケア、性差医学 ・総合医学Ⅲ：生命を捉え直す、神経科学の最前線、形態科学、細胞シグナル伝達入門 ・総合医学Ⅴ、Ⅵ：スポーツ医学、臨床病理学、診断学PBL、安全管理学、漢方医薬学、インフォームドコンセント、医工連携、医療コミュニケーション ・総合医学Ⅶ：チーム医療演習、異常所見と病態生理、鑑別診断のための医療面接法、薬害、臨床倫理、漢方診断学演習、診断学PBL
佐賀大学	20～30% <ul style="list-style-type: none"> ・大学入門科目（医療入門Ⅰ）：アーリー・エクスポージャー（早期体験学習）、小グループによる課題研究 ・選択コース：2年次から研究室配属の選択科目の履修ができる ・機能・系統別PBL科目：3～4年次でPBL及びTBLにより問題解決能力、コミュニケーション能力を育てる
長崎大学	0.8% <ul style="list-style-type: none"> ・原爆医学概論：原爆の実相と歴史的な長崎の特徴から始め、世界の被ばく者に対する長崎から国際的な医療活動を紹介し、放射線とは何かを物理学的特徴から理解し、その後放射線の健康影響について病理学的特徴、血液異常、甲状腺影響、そして健康管理の現状などを講義する。最後に国内に55基の原子炉がある原子力発電所に備え、核災害や放射線事故時にどのように対処するか、その準備状況などを実地に即して講義する。 ・医学は長崎から：「医学は長崎から」は次の2つの目的を実現するために設けられた。1. 未来の医学を開拓する夢と気概を育む。2. 医学の偉人に学問の進め方を学ぶ。これらの講義を通して、近代医学の導入と発展に貢献した代表的な人々の具体的業績と長崎との関連について説明出来るようになる事を到達目標としている。

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合 カリキュラム名：内容
大分大学	5.1% ・研究室配属：国内外の大学や医療機関の研究室に配属し研究を行う。 ・医学英語：医療英会話 ・日本語コミュニケーション学：医療現場でのポライトネス・ストラテジー
宮崎大学	3.2% ・EMP：EMP:English for Medical Purposes 複視眼的視野を持つ国際的医療人の育成プログラム ・研究室配属：学生が希望する研究室に所属して、生命科学研究に必要な基本的な手技、研究に対する考え方や心構え、文献検索方法やデータ処理の仕方、英文論文の読解、生涯にわたって研究マインドを持続することの重要性を学ぶ。
鹿児島大学	15.0% ・学外臨床実習：専門診療科の内容を見学 ・自主研究：実際の研究を行い、発表する ・医療面接2：行動変容の原則に基づく患者教育、悪い知らせ
琉球大学	5.0% ・研究室配属：基礎医学の研究室に3週間配属して、基礎医学を学ぶ。 ・臨床実習（自由選択）離島実習：僻地・離島での診療を体験する。 ・医学概論A, B：研究の最先端に触れる。 ・離島地域病院実習：僻地・離島での診療を体験する。
【公立】	
札幌医科大学	4.0% ・「医学概論・医療総論1～5」：early exposureから臨床医学実習前までの医師プロフェッショナルリズムの系統的実習 ・「医学入門セミナー」：本学医学部で最先端の医療と医学研究に携わっているエキスパートによる講義を通じて、医学研究と医療の最前線を知る。また、学習の基本スキルを身につけるためグループ単位で演習を行う。 ・「21世紀問題群」：人類持続可能性に代表される自然と社会に跨る現代の諸問題について理解を深めることを通して、自然観、人間観、世界観を養う。
福島県立医科大学	6.5% ・プライマリ・ケアと地域医療：「家庭医療」の理解 ・基礎上級：基礎医学・社会医学等のいずれかの講座に全学生を6週間配属 ・福島学：学外から多数の講師を招き、多面的な視点から福島の魅力について紹介する。 ・東洋医学：漢方を学ぶ
名古屋市立大学	50.0% ・神経科学：脳機能を支え神経疾患の病因となる分子基盤を理解する ・学術論文入門：原著論文の抄読会 ・Scientific Writing and Presentation：研究データから英文でabstractを作製する能力を習得する ・臨床腫瘍学：腫瘍学をテーマに基礎から臨床、緩和ケアを理解する
京都府立医科大学	30.0% ・総合講義：栄養学、医用工学、臨床倫理学、放射線基礎医学、東洋医学
大阪市立大学	30.0% ・修業実習：基礎医学の研究室で特定のテーマについて実験・研究を行う。 ・選択BSL：教育協力病院において臨床実習を行う。
和歌山県立医科大学	10.0% ・細胞の構造と機能Ⅰ、Ⅱ：細胞生物を生物、生化学、分子医学の教員がオムニバスで行うもの ・ケアマインド教育：医学部、保険看護学部の共通講義、患者および家族の会話を聞いて、グループワークするもの
【私立】	
岩手医科大学	1.7% ・医学英語入門：医学英語の成り立ち、文の構造の理解、英語で医学論文を読み、書き、発表を行うための基本を身に付ける ・医学英語：医学専門テキストを読み医学用語を英語で活用して英語での医療面接の構成や内容を理解する。 ・医学統計学：将来の実務・研究への適用可能性および有用性を認識した上で、問題を統計学的に再構成し、適切な技法を選択した後、得られた解析結果を評価できる能力とセンスを養う。

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合 カリキュラム名：内容
獨協医科大学	10.6% <ul style="list-style-type: none"> ・リベラルスタディー：自ら問題を発見する姿勢や研究への動機づけなどを含む課題探求能力・問題解決能力の育成を目指す。 ・臨床からの学問のすゝめ：臨床各分野の講師による倫理観や信念、体験談などを聴講し、将来、医師としての規範、職業人としての目標を自ら身に付けていくための感性を養う。 ・教養医科学：学外から各領域の有識者を招聘し、医学を学ぶことへの関心を高められる特別講義を開設している。 ・PBLテュートリアル：初めに提示された課題を各学生が自主的に学習して準備をし、次に少人数グループ内で質疑応答してまとめ、最後にグループ発表を行うといったように、問題点を解決するためには新しい知識が必要であることを学び、最終的には学生自身が解決方法を見出す「学び方を学ぶ」ことを習得する。
埼玉医科大学	20.0% <ul style="list-style-type: none"> ・選択必修（1年生）：生物学、歴史学、医療社会学、社会医学、文学、外国語（ドイツ語）、生理学、精神の科学、人文科学、基礎医学技術、生命科学、生命倫理、物理学、東洋医学 ・選択必修（2年生）：栄養学、倫理学、環境倫理学、基礎医学実験、情報科学、文学、国語、医学英語、社会医学、生命科学、生物学、人間工学、東洋医学、精神の科学、民俗学、英語、社会科学 ・全てのカリキュラム：全ての講義、演習・実習で内容の約15%程度コアカリキュラム以外も言及している
日本大学	40.0% <ul style="list-style-type: none"> ・医学英語Ⅰ・Ⅱ：①英文の医学文献を読める ②英語で医療面接（診察）ができる という2つのスキルを卒業時まで身に付けることを目標としている。 ・自由選択学習：国内・海外を問わず興味のあるテーマを自由に選び、学ぶことのできる。学内にも多数のコースを用意しており、自らの進路や知的好奇心に沿ったコースを選択することができるのが特色である。 ・医学序論：自校教育や各専門分野の医療等にあつかわる全般的な講義や教授・准教授クラスの教員と小グループに分かれてセミナーを行う。 ・社会体験学習：介護・福祉施設等での介助実習
日本医科大学	30.0% <ul style="list-style-type: none"> ・Novel medical science：全人的医療、患者と医師の関係、プロフェッショナリズム等の医の原理の実習と講義、6年一貫教育を理解する。 ・医学入門：チュートリアル教育を通して問題解決能力及び自主的な学習方法を身につける。 ・TBL (team based learning)：予習を前提とした、教育主導型の双方向型授業 ・医学実地演習：病棟において、医学生が看護の医療業務実務を体験することにより患者の心や身体への痛みを実感する。
東邦大学	15.0% <ul style="list-style-type: none"> ・先端医科学演習：基礎医学講座への配属 ・レディネス：大学での学習に必要な基礎的能力の獲得を目指す（情報リテラシー） ・選択科目：人文系、芸術系、社会科学系、語学系、自然科学系、医学（基礎・臨床） ・選択制臨床実習：準研修医扱で臨床参加型実習を行う
東京医科大学	8.0% <ul style="list-style-type: none"> ・6年選択実習：参加型臨床実習が導入され指導医のもとで臨床の現場を体験 ・6年臨床医学Ⅳ：臓器別の集中講義により疾患別の境界を取り除き各臓器別の水平的考察による知識の整理を図る。
東京女子医科大学	25.0% <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの教育単位の中にコアとアドヴァンスが含まれるので具体的な名称は提示できない
東京慈恵会医科大学	30.0% <ul style="list-style-type: none"> ・教養ゼミ：1年次前期までに学んだ知識・技能をふまえて、自然・人間・社会についての理解・知識・技能を深め、高い教養を身につけ広める。 ・研究室配属：大学の講座や研究室で具体的にどんな医学研究が展開されているのか実際に体験し、研究活動やその成果が医学全体の中でどのような位置を占め貢献しているのかを体得し、研究成果の発表方法・論文作成の方法を学ぶ。 ・医学総論：医に関する自然科学以外の諸問題、即ち、Medical Humanities、Communication、Team-Working、そしてProfessionalismなどについて講義、演習、実習、体験実習、臨床実習を通じて身につけ、医療人として生涯にわたってReflective Practice（内省的実践）を行うことができる基盤の養成。 ・症候学演習、感染・免疫テュートリアル、臨床医学演習（テュートリアル）：【症候学演習、感染・免疫テュートリアル】基礎医学、臨床基礎医学の知識を用いて、臨床症例の病態や症候を解釈する能力を養い、自己学習の習慣と問題解決能力を身につけ、グループ学習・討論を通して、発表能力ならびにコミュニケーション技法を身につける。【臨床医学演習（テュートリアル）】基礎医学、社会科学、および本演習と同時進行で行われる臨床系ユニット講義で得た知識を駆使して、主治医として担当する患者モデルの問題解決を行い、5年次より始まる「臨床」における基本的な思考方法である臨床推論を身につける。

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合 カリキュラム名：内容
慶應義塾大学	30.0% ・基礎分子細胞生物学 (MCB II)：分子・細胞生物学の基礎的事項修得を前提に学内外第一線の研究者から指導を受ける。 ・自主学习：実験研究調査テーマを自由に選択し、個別指導を受けて医学研究現場を肌で感じ取る。 ・症例検討：基礎・臨床をインテグレーションした症例を教材とし、ディスカッションスタイルで行う。
昭和大学	30.0% ・いのちの講座：がん患者や牧師・絵本作家などを招き、「死」というテーマについて様々な視点から取り上げ、討論し、「生・死」に対する理解を深める。 ・日本語対話法：患者や家族との医療面接や、医療スタッフとのチーム医療を円滑かつ正確に行うために必要となる、的確・適切なコミュニケーションの基本を学習する。 ・公衆衛生ゼミナール：広汎な公衆衛生学領域の中から自発的に研究テーマを定め、関連する先行研究について文献検索及び知見の整理を行うことで、EBM（「根拠に基づく医療」）の基礎を実体験する。 ・選択実習（6年次）：より進んだ臨床実習を行い、医療の実践を体験し、参加型実習により基本的医療技術を習得することで、卒業研修に対応する能力を養う。国内だけでなく、海外も含め各医療機関を自由に選択し、1か月1診療科の実習を3か月行う。
順天堂大学	約30%
杏林大学	解答困難 ・医療科学B：他学部の教員の講義
帝京大学	0.1% ・英語Ⅰ：医療系英語 単語 ・スポーツ実技：適切な身体運動の仕方、楽しみ方を学ぶ ・哲学（選択）、教育学（選択）、経済学（選択）、社会学（選択）、法学（選択）：人間存在のあり方、教育学を学ぶ、経済学の基礎知識、若者の世界とメディア、法律 ・日本国憲法（選択）、ボランティア概論（選択）：裁判例や制度、ボランティア活動
北里大学	5.0% ・海外選択実習：海外での臨床実習
聖マリアンナ医科大学	15.0% ・総合教育科目：人文・社会系等の科目を配当し、幅広い知識を習得させる。
東海大学	15.0% ・クリニカルクラークシップ（一部）：コアカリで指定された診療科以外 ・選択臨床実習：臨床実習における診療各科のアドバンスコースとして実施
金沢医科大学	5.0% ・特別講義（第1～4学年）：関連病院長や他分野有識者による講義、各研究分野の最先端の事例紹介等 ・診療シミュレーション：がん告知などの悪い知らせを含む医療面接や模擬診察も実施する AdvancedPBL
藤田保健衛生大学	30.0% ・アセンブリ：学生と教員が共に活動し、双方向性のコミュニケーションをとる（1・2年） ・病と死の人間学：患者の病気に関する考えや死生観を考える。 ・読書ゼミナール：教員と共に読書を通して教養の充実をはかる。 ・医療を考えるセミナー：医療問題に対し多方面からの切り口で考える。
大阪医科大学	30.0% ・セミナー1、セミナー2：スモールグループによる総合教育 ・研究の楽しみ：リサーチマインドの教育 ・医学英語：医学英語教育 ・人間科学：哲学、心理学
関西医科大学	1.3% ・総合人間医学2医学概論：医学医療の現状と進歩を具体的に学ぶとともに医学における生命倫理の重要性を学ぶ ・総合人間医学4医療制度・安全対策概論：クリニカルクラークシップを安全に行うために、医療事故防止対策、チーム医療、院内感染防止など質の高い医療の実践に必要な基本的知識を修得する。 ・医学英語Ⅱ・Ⅲ、1学年シミュレーション実習：医学生に必要な医学英語を学ぶ。 ・医学概論特論：僻地医療や医師不足診療科の現状と対策について学ぶ。
兵庫医科大学	1.7% ・レベルアップ選択科目：学年の枠に縛られず、興味のある科目を選択して受講することにより、人文科学・理科学・医科学に対する広範な知識を身につける。 ・人文・社会系選択科目：関西学院大学で実施されている多彩なりべラルアーツ科目の中から自主的に科目を選択し、人文系の教養を身につける。

設問1. カリキュラム全般

大学名	割合	カリキュラム名：内容
川崎医科大学	7.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・リベラルアーツ選択Ⅰ、Ⅱ：選択制教養科目 ・日本語：初年次教育の観点から、大学での学びに必要な日本語力を身につけることをめざしている。 ・体育：生涯にわたって健康で活力のある生活の獲得を目標に、健康・体力づくりの意識と具体的な方法について講義と実習を学ぶ。 ・英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ：正確な英文読解力、100語程度のパラグラフティング能力の養成、自己の意見を英語でプレゼンテーションする能力の養成
産業医科大学	10.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・法学概論：人の人権やいのちの法律学に関するものの見方を修得する。 ・経済学入門：企業・社会に関する基本的な知識を習得し、また経済活動の根幹を支える「証券市場」のもつ重要性を理解することで、企業とは何か、そこで働くことがどのような事なのかを理解する。 ・産業心理学：働くことにかかる状況について理解を深めることであり、併せて、そうした状況のなかで生じる心理-社会的諸問題とその克服に向けての考え方が具体的取り組みを知ることである。 ・文学思想史：文学を通して、患者の苦しみ、生死感を理解する。
久留米大学	30.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・講座特論：コアカリに包含されない項目について独特の視点や研究の切り口について学ぶ。2年から4年次 ・up to date-アドバンスド・コース：現在学問的に重視されている研究領域やトピックスについて学ぶ。2年から4年次 ・医療科学：医の倫理に関する事柄を学び、医師として生涯にわたり考えていく習慣を身につける。 ・選択制セミナー：医学に関するモチベーションを高め、豊かな人間形成に役立てる。

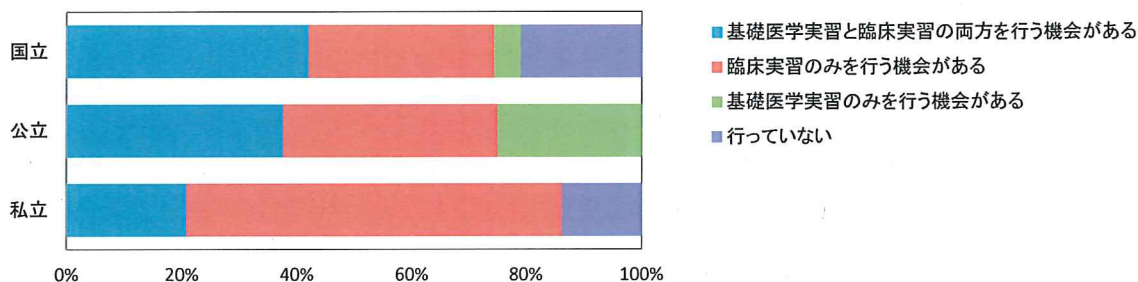
設問10. 学生の海外実習

10-A. 学生の海外実習の機会

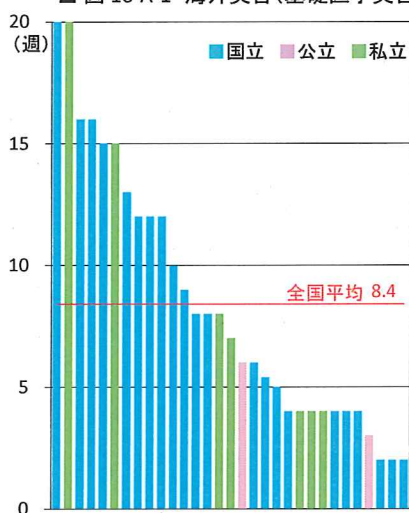
(表10-A)

		国立	公立	私立	全国
1	基礎医学実習と臨床実習の両方を行う機会がある (校)	18	3	6	27
	基礎医学実習 最長期間 (平均) (週)	10.2	4.7	6.2	8.7
	(最多) (週)	20	6	15	20
	(最少) (週)	3	4	2	2
	臨床実習 最長期間 (平均) (週)	8.1	8.0	8.3	8.1
	(最多) (週)	20	12	15	20
	(最少) (週)	4	4	2	2
2	臨床実習のみを行う機会がある (校)	14	3	19	36
	臨床実習 最長期間 (平均) (週)	6.2	4.0	6.1	5.9
	(最多) (週)	14	4	12	14
	(最少) (週)	2	4	2	2
3	基礎医学実習のみを行う機会がある (校)	2	2	0	4
	基礎医学実習 最長期間 (平均) (週)	3.0	10.2	0.0	6.6
	(最多) (週)	4	15	0	15
	(最少) (週)	2	5	0	2
4	行っていない (校)	9	0	4	13
	計 (校)	43	8	29	80

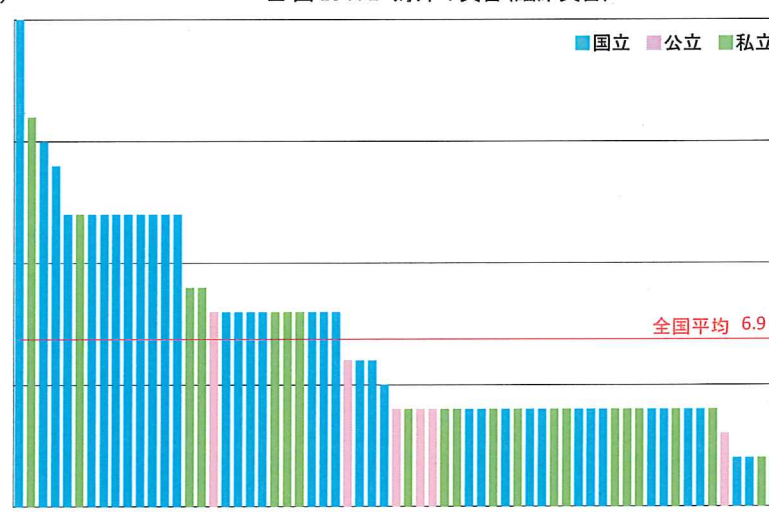
■ 図 10-A 海外実習の機会



■ 図 10-A-1 海外実習(基礎医学実習)



■ 図 10-A-2 海外の実習(臨床実習)



設問10. 学生の海外実習

【学生の海外実習の機会がある大学】

機会 (1 基礎医学実習と臨床実習の両方を行う機会がある 2 臨床実習のみを行う機会がある 3 基礎医学実習のみを行う機会がある)

大学名	機会	基礎医学実習 (平均)	臨床実習 (平均)
【国立】			
東北大学	1	20.0週	20.0週
秋田大学	1	6.0週	4.0週
筑波大学	1	12.0週	12.0週
群馬大学	3	4.0週	
防衛医科大学校	2		4.0週
千葉大学	2		6.0週
東京大学	1	16.0週	16.0週
東京医科歯科大学	1	20.0週	8.0週
新潟大学	1	8.0週	12.0週
信州大学	1	3.0週	4.0週
富山大学	2		4.0週
金沢大学	2		12.0週
福井大学	1	4.0週	5.0週
岐阜大学	2		12.0週
浜松医科大学	2		4.0週
名古屋大学	2		14.0週
三重大学	2		8.0週
京都大学	1	7.0週	8.0週
大阪大学	1	8.0週	8.0週
神戸大学	1	12.0週	12.0週
鳥取大学	2		2.0週
島根大学	2		3.0週
岡山大学	1	13.0週	4.0週
広島大学	1	16.0週	4.0週
徳島大学	1	8.0週	4.0週
香川大学	2		6.0週
高知大学	2		4.0週
九州大学	1	4.0週	4.0週
佐賀大学	2		4.0週
長崎大学	1	10.0週	4.0週
大分大学	3	2.0週	
宮崎大学	1	4.0週	4.0週
鹿児島大学	1	12.0週	12.0週
琉球大学	2		4.0週

大学名	機会	基礎医学実習 (平均)	臨床実習 (平均)
【公立】			
札幌医科大学	2		4.0週
福島県立医科大学	3	5.4週	
横浜市立大学	3	15.0週	
名古屋市立大学	2		4.0週
京都府立医科大学	1	4.0週	4.0週
大阪市立大学	1	6.0週	12.0週
奈良県立医科大学	2		4.0週
和歌山県立医科大学	1	4.0週	8.0週
【私立】			
自治医科大学	2		4.0週
獨協医科大学	1	2.0週	2.0週
埼玉医科大学	2		4.0週
日本大学	1	4.0週	4.0週
日本医科大学	2		8.0週
東邦大学	2		12.0週
東京医科大学	2		4.0週
東京女子医科大学	2		8.0週
東京慈恵会医科大学	1	15.0週	15.0週
慶應義塾大学	2		8.0週
昭和大学	2		8.0週
順天堂大学	1	5.0週	8.0週
杏林大学	2		8.0週
帝京大学	2		12.0週
北里大学	1	9.0週	9.0週
聖マリアンナ医科大学	2		4.0週
東海大学	1	2.0週	12.0週
金沢医科大学	2		4.0週
藤田保健衛生大学	2		6.0週
愛知医科大学	2		9.0週
大阪医科大学	2		4.0週
関西医科大学	2		4.0週
兵庫医科大学	2		4.0週
産業医科大学	2		2.0週
福岡大学	2		2.0週

10-B. どのように海外実習先を選定していますか

大学名	選定方法
【国立】	
東北大学	各診療科とつながりがある大学等を各自が選定している
秋田大学	国際交流協定を締結している大学。
筑波大学	協定校、または独自に申しこむ。
群馬大学	教員が選定している
防衛医科大学校	公益財団法人医学教育振興財団が募集する英国医学部における臨床実習のための短期留学の実習先
千葉大学	大学間交流協定あるいは学部間交流協定のある大学、教員同士の交流のある大学
東京大学	協定を結んでいる大学への派遣、または学生が個人で選定
東京医科歯科大学	協定・契約に基づき学生を派遣する場合と学生が研究内容に応じて実習先を探してくる場合がある。
新潟大学	基礎医学、臨床医学の教授の紹介、医学振興財団の試験、ミネソタ大学との交換留学協定
信州大学	現在作成中
富山大学	部局間協定の締結先並びに本学の診療科が紹介できる施設等
福井大学	本学教員研究と診療上のつながりのある機関やIFMSAプロジェクトによる機関。
岐阜大学	関係委員会で学生が希望する実習先を承認している。
浜松医科大学	海外の協定校
名古屋大学	海外協定校
三重大学	学生交換事業に関して合意した大学間あるいは学部間協定校
京都大学	協定校もしくは本学教員の紹介
大阪大学	学部の協定校又は学生が個人で受け入れを申請した機関
鳥取大学	国際交流協定締結校
島根大学	大学が協定を締結している大学及び大学の教員が関わりがある海外の大学病院
岡山大学	大学間・部局間協定を原則としている
広島大学	各講座の教員からの推薦等
徳島大学	協定校
香川大学	国際交流協定校
高知大学	学生交流協定を締結している海外の大学に派遣している。
九州大学	教員の個人的つながり、協定校
佐賀大学	提携校の中から選定。また、学生の選定を認める場合もある。
長崎大学	大学間学術交流協定等を締結している大学
大分大学	交流協定校のうちから実習目的を考慮して選定している。
宮崎大学	国際交流の協定を締結している大学から選定
鹿児島大学	臨床教授等がおり本学の各講座が推薦する実習プログラムが明らかな施設
琉球大学	教員同士の個人的人脈からの発展。大学が協定を結んでいる。

大学名	選定方法
【公立】	
札幌医科大学	協定締結校
福島県立医科大学	本学と協定を結んでいる大学
横浜市立大学	学内教員の推薦による
名古屋市立大学	本学と提携している海外実習病院
京都府立医科大学	協定締結大学等
大阪市立大学	協定を結んだ大学、教員からの紹介
奈良県立医科大学	協定大学
和歌山県立医科大学	大学との協定、教授の紹介、学生の希望
【私立】	
自治医科大学	協定を締結している施設
獨協医科大学	協定校
埼玉医科大学	交換留学の提携校
日本大学	学生自身が学内・学外を問わず自由にコースを選択する
日本医科大学	協定を結んでいる大学（6校）との交換留学及び非協定校
東邦大学	学術交流協定を締結している大学に派遣している。
東京医科大学	教員の推薦等により、姉妹校あるいは学生交流の協定を締結する。
東京女子医科大学	教員の共同研究などで交流実績のある大学間で双方の学生交流等に関する希望が合えば学長間で交流協定を締結し学生を派遣している
東京慈恵会医科大学	大学の提携先、各講座教員の紹介先
慶應義塾大学	学生交流協定による派遣および学生の自主的選定。
昭和大学	学生が希望する施設を選択する。
順天堂大学	講座が選定（基礎）、講座から推薦・各自で選定（臨床）
杏林大学	学生が自分で実習先を見つける、教員からの紹介
帝京大学	成績上位者において希望がある場合
北里大学	基本的に協定校で実習を行う。
聖マリアンナ医科大学	本学の教員が留学した大学や共同研究を行っている大学等に学生の相互派遣に係る協定の同意を取り付け、関連委員会の議、教授会の承認を経て選定する。
東海大学	長期の派遣については、学生派遣留学に関する協定を締結した大学
金沢医科大学	交流協定締結大学
藤田保健衛生大学	MOU等の協定を結んでいる
愛知医科大学	大学の国際交流協定締結先の大学で行う。
大阪医科大学	大学間国際交流協定締結先
関西医科大学	学内教員からの紹介を通して本学と協定を締結した機関で実習を行う。
産業医科大学	委員会で決定している。
福岡大学	啓明大学交換BSLプログラム